

誰でも知っておきたい！ よく使われている報告ガイドライン

本号では、よく使われている下記6つの報告ガイドラインを紹介します。

CONSORT	CONSORT 2010 声明：ランダム化並行群間比較試験報告のための最新版ガイドライン
STROBE	疫学における観察研究の報告の強化 (STROBE 声明) : 観察研究の報告に関するガイドライン
PRISMA	システマティック・レビューおよびメタアナリシスの 報告における望ましい報告項目: PRISMA 声明
RECORD	日々観察されて集められている診療情報を用いた研究 の報告基準
COSMIN	健康関連尺度の選択に関する合意に基づく指針
COREQ	質的研究論文の統合基準チェックリスト

紹介ページでは、報告ガイドラインごとに関連情報の入手方法を掲載しています。
表の見方は、以下をご参照ください。

公式ウェブサイト	EQUATOR Network への収載	チェックリスト	E&E	日本語訳
○	○	○	○	○

公式ウェブサイト (報告ガイドラインに関する情報が掲載されている公式ウェブサイトの有無)

EQUATOR Network への収載 (<https://www.equator-network.org> への掲載の有無)

論文の書誌情報、チェックリスト・E&Eの有無や入手先、公式ウェブサイトの URL、extensions の情報などが掲載されています。

チェックリスト・E&E (チェックリスト・E&Eの有無)

報告ガイドラインの開発論文内に掲載されている場合と、論文とは別に発表されている場合があります。

日本語訳 (チェックリストまたはE&Eのいずれかの日本語訳の有無)

本特集では、公式ウェブサイトならびに EQUATOR Network において収載がみられない場合は×としていますが、日本語で該当ガイドラインの紹介がある場合は、「ガイドラインの入手方法」に記載しています。報告ガイドラインによって、翻訳はチェックリストのみで、E&Eは翻訳されていない場合もあります。なお、日本語訳の公開後、翻訳元の報告ガイドラインが改訂されている場合もあります。日本語訳を利用する際は、公式ウェブサイトや EQUATOR Network で最新版かどうか確認することを推奨します。